

会 議 録

1 会議名

令和3年度第2回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議 題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）地域活動支援事業(プレゼンテーション等)について

（2）その他

・総合事務所からの諸連絡について

・その他

4 開催日時

令和3年5月20日（木）午後6時15分から午後8時50分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

6人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、大滝健彦、片桐利男、佐藤均、
関澤義男、高野幸夫、中村正三、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一

・事務局：風間所長、平山次長（総務・地域振興グループ長兼務）、渡邊市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グループ班長、佐々木総務・地域振興グループ主査

9 発言の内容

【平山次長】

・会議の開会を宣言

・委員12人の出席を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：五十嵐委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・協議事項の進行は、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・議長を務めさせていただく。なお、議事録作成のため、発言をする場合は、挙手をし、私から委員の名前をお呼びするので、その後、発言をお願いします。
- ・続いて、次第の3協議事項に移る。
- ・(1) 地域活動支援事業（プレゼンテーション等）についてである。
- ・プレゼンテーションについては、各提案団体にプレゼンテーション7分、質疑応答3分と通知してある。
- ・事前に委員からの質問に対する提案団体の回答を配布してある。疑問点や新たな質問等があれば、質疑応答の中でお願いしたい。
- ・事務局から説明をお願いします。

【佐々木主査】

- ・「資料No.1」の令和2年度 地域活動支援事業(吉川区)の事業実績について、採択された全事業が終了し、補助金の支払いまで完了した。今年度も継続して提案されている案件もあり、参考にされたい。
- ・本日のプレゼンテーションの順番は、提案の受付順を基本として行う。
- ・また本日の資料中、「資料No.2」は、委員の質問と提案者の回答を一覧表にしたものである。先日、提案団体から提出された回答の写しを送付してあるので、説明は省略する。
- ・提出された提案には、関係課から所見が届いており、提案者のプレゼンテーションの前に、私からその内容を報告させていただく。

【山岸会長】

- ・それでは、地域活動支援事業に提案された9団体から、プレゼンテーションをしていただく。

- ・最初に、No. 1 水源地域振興対策協議会から提案があった「天岩戸・尾神伝説の保存伝承事業」についてである。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

（関係課の所見を報告。）

【山岸会長】

- ・水源地域振興対策協議会よりプレゼンテーションをお願いする。
（水源地域振興対策協議会の内藤氏が、提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。）

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。

【江村委員】

- ・確認はしていないが、ある人から天岩戸伝説は、岩戸寺を位置付けるために江戸時代につくられた話であると聞いたが、全国に情報発信するということであれば、ある程度調査して確認する必要があるのではないか。記念講演会の開催について、どのようなPRをするのか。講師の予定はあるのか。パンフレットとはどのようなもので、その用途はどのように考えているか。

【水源地域振興対策協議会】

- ・地元の古老にもお聞きしたり、できるだけ調べているが歴史的な詳細はわからないのが実情である。現地を訪問した方から見てもらえるようなものを考えている。戸隠神社のような大それたことは考えていない。
- ・記念講演会は地域の方や歴史に詳しい方から来てもらえればと思っているが、詳細なことはこれからである。パンフレットはこれから検討していくが、尾神に来られた方や記念講演会に来られた方などに配布する予定である。

【江村委員】

- ・パンフレットの内容をきちんと考えて提案してほしい。

【水源地域振興対策協議会】

- ・尾神の位置図やこの伝説の謂れを掲載し、来ていただくための簡単なパンフレットとしての活用も考えている。

【山岸会長】

- ・他に質問がないようであれば、以上で「天岩戸・尾神伝説の保存伝承事業」のプレゼ

ンテーションを終了する。

(水源地域振興対策協議会関係者が退席。)

【山岸会長】

- ・次に、No.2 吉川観光協会から提案があった「よしかわ道の駅活性化事業」について、プレゼンテーションをお願いしたい。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

(関係課の所見を報告。)

【山岸会長】

- ・吉川観光協会よりプレゼンテーションをお願いする。
(吉川観光協会の小池氏が提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。
(質問はなかった。)

【山岸会長】

- ・以上で「よしかわ道の駅活性化事業」のプレゼンテーションを終了する。

【山岸会長】

- ・引き続き吉川観光協会から提案があったNo.9「吉川酒文化の発信事業」について、プレゼンテーションをお願いしたい。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

(関係課の所見を報告。)

【山岸会長】

- ・吉川観光協会よりプレゼンテーションをお願いする。
(吉川観光協会の小池氏が提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。

【薄波副会長】

- ・酒瓶に貼るラベルは表と裏があるが、両方を提案しているのか。

【吉川観光協会】

- ・表面のみで裏面は杜氏の郷が作成するもので、この事業の対象としていない。

【江村委員】

- ・チラシが既に新聞折込で配布されており、その中に地域活動支援事業を活用しているとの文言が入っているが、採択前でありいかななものかと思う。どのように考え作成したのか。

【吉川観光協会】

- ・当事業のQ&Aの記載の中に、PR用チラシには「この事業は上越市地域活動支援事業を活用していますと一文を明記してください。」とあったので標記した。

【佐々木主査】

- ・総合事務所でも新聞折込に入ったチラシを見て、提案団体に対して採択前であり地域活動支援事業に提案中である等の文言であればよいが、読まれた方に誤解を与えるような表現であることを注意した。

【山岸会長】

- ・以上で「吉川酒文化の発信事業」のプレゼンテーションを終了する。
(吉川観光協会関係者が退席。)

【山岸会長】

- ・次に、No.3 吉川タイムズから提案があった「季刊「吉川タイムズ」発行事業」について、プレゼンテーションをお願いしたい。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

(関係課の所見を報告。)

【山岸会長】

- ・吉川タイムズよりプレゼンテーションをお願いする。
(吉川タイムズの小池氏が提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。

【佐藤副会長】

- ・新聞購読をしていない世帯には、どのように配布するのか。

【吉川タイムズ】

- ・ゆったりな郷やスカイトピア遊ランド、杜氏の郷などに配置をお願い、自由に手に取ってもらえるようにしたい。

【薄波副会長】

- ・提案書に報道機関とあるが、報道機関として認定とか登録を受ける必要はあるのか。

【吉川タイムズ】

- ・そのような必要はない。私も法的なことを調べたが、ブログでも報道機関として裁判で認められた事例がある。私は9年間やっているが、過去に3件のクレームがあった。インターネットに掲載して、人権の問題などで削除する例はあるが、簡単に取り下げたりはしない。ブログだからよいということではないが、新聞の場合は活字として残るものなので、その辺は注意をして慎重にやっていきたい。

【薄波副会長】

- ・プライバシーポリシーについては、どのように考えているか。まだ掲載されていないようである。今回、所見もあったのでぜひ取り組んでほしい。

【吉川タイムズ】

- ・吉川タイムズのホームページの中にウェブサイトがあり、市民記者コードとして、やってはいけないことを6つ掲載してある。それを基に掲載している。プライバシーポリシーは掲載していないので掲載したいと思う。

【江村委員】

- ・市民記者にふさわしい人というのはどのような人を考えているか。

【吉川タイムズ】

- ・まずは自分の思いを原稿に書ける人であり、文章の上手、下手は関係ない。吉川タイムズのファンの方で関心をもっている人や書くテーマをもっている人からなってもらいたい。

【山岸会長】

- ・次に、No.4 吉川区青少年育成会議から提案があった「「地域のお宝自慢」探検隊事業 地域のお宝マップづくり」について、プレゼンテーションをお願いしたい。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

(関係課の所見はない。)

【山岸会長】

- ・吉川区青少年育成会議よりプレゼンテーションをお願いする。
(吉川区青少年育成会議の小山氏、石野氏が提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。

【中村委員】

- ・児童、生徒全員が参加対象になると思うが、希望する子供たちによる手上げ方式で取り組むのか。子供たちとのミーティングとあるが、既に子供たちの意向を聞いたのか。聞いたのであれば、その内容を教えてほしい。

【吉川区青少年育成会議】

- ・対象者は高学年で、総合学習の生活科の中で行う。中学生については、1年生から3年生の全員で行うが、コロナ禍でもあり一同に介しての取り組みはしない。
- ・子どもたちの意向については、まだ聞いていない。今は学校との話し合いを進めているところで、当事業が採択された後に、児童、生徒、学校を含め、全体の説明をする予定になっている。

【江村委員】

- ・タブレットで発信をするための講師と活動の評価をするための講師と講師が2人いることになるが、詳細はどうか。

【吉川区青少年育成会議】

- ・講師については、タブレットを教えてくれる講師と活動発表時の講師は別である。タブレットの講師は、学校のGIGAスクールの中で行うものである。活動発表会の講師には、取り組みについての評価やその後の地域振興に向けた講演をしてもらう予定である。まだ講師の依頼はしていないが、上越教育大学にお願いする予定である。

【山岸会長】

- ・次に、No.5 越後長峰城址保存会から提案があった「長峰城址保存活用事業」について、プレゼンテーションをお願いしたい。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

(関係課の所見を報告。)

【山岸会長】

- ・越後長峰城址保存会よりプレゼンテーションをお願いする。
(越後長峰城址保存会の上野氏が提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。

【江村委員】

- ・長峰城址の登城記念に御城印を配布するとのことだが、他の活用について何か考えているか。

【越後長峰城址保存会】

- ・御城印の活用だが、当事業で作る500部は見学会や長峰城址の登城記念に配布する。それとは別に当保存会で500部作成し、ゆっつりの郷で販売したいと考えている。御城印をラミネートして看板に貼り付けPRしたい。

【山岸会長】

- ・次に、No.6 里山文化研究会から提案があった「吉川区昭和と平成の記憶記録事業」について、プレゼンテーションをお願いしたい。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

(関係課の所見を報告。)

【山岸会長】

- ・里山文化研究会よりプレゼンテーションをお願いする。
(里山文化研究会の横田氏が提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。

【江村委員】

- ・DVD化する理由は何か。また、研究者の資料とするとのことだが、それはどのように行うのか。

【里山文化研究会】

- ・録画をすることで人物の表情がよくわかるので、録音より録画で残すことを考えた。上越教育大学の先生方と交流があり、上越教育大学にはDVDを寄贈したいと考えている。DVDに残しておけば、将来的にそれを基に吉川区の歴史が研究対象になると信じている。

【山岸会長】

- ・次に、No.7 尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会から提案があった「尾神観光資源PR事業」について、プレゼンテーションをお願いしたい。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

(関係課の所見を報告。)

【山岸会長】

- ・尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会よりプレゼンテーションをお願いする。
(尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の佐藤氏が提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。

【江村委員】

- ・DVDの活用について、よしかわ道の駅や吉川区総合事務所、公共施設等で放映できるようにしたいとの説明があったが可能なのか。また、公共施設等ではどのような施設を想定しているか。

【尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会】

- ・上越市など施設管理者とこれから協議をしていきたい。また、資料としても活用できると考える。

【山岸会長】

- ・次に、No.8尾神岳ファンクラブから提案があった「尾神岳山頂遊歩道・絵馬堂等整備事業」について、プレゼンテーションをお願いしたい。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

(関係課の所見を報告。)

【山岸会長】

- ・尾神岳ファンクラブよりプレゼンテーションをお願いする。
(尾神岳ファンクラブの中村氏が提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程の説明について、質問、意見はないか。

【江村委員】

- ・提案書を見ると委託費が主のような感じを受ける。それと遊歩道をゆっくり歩こう会の参加PRは、吉川区内にチラシを配布して参加者を募るということか。尾神岳ファンクラブ自身でPRすることが必要と考えるが。

【尾神岳ファンクラブ】

- ・尾神岳ファンクラブや参加者を募って整備するべきだが、高齢化によりなかなかそ

こまでできない。草刈りや軽微な管理は、尾神岳ファンクラブで行う予定である。

【山岸会長】

- ・以上でプレゼンテーションを終了する。提案団体の皆さんによるプレゼンテーションに感謝する。ここで休憩とする。

(休憩：20時04分)

(再開：20時32分)

【山岸会長】

- ・再開する。これから審査、採点を行う。事務局から説明をお願いする。

【佐々木主査】

- ・審査、採点について説明させていただく。

(以下、採点票を基に説明。)

【山岸会長】

- ・ただいまの事務局の説明に対して質問はあるか。

(質問はなかった。)

【山岸会長】

- ・それでは受付順に審査、採点をお願いする。
- ・No.1の天岩戸・尾神伝説の保存伝承事業についての審査、採点をお願いする。

(以下、会長の進行により審査、採点が行われた。)

【山岸会長】

- ・以上で協議事項(1)令和3年度地域活動支援事業(プレゼンテーション等)についてを終了する。
- ・次に(2)その他に入る。地域協議会だより第42号の発行についてお話をする。今回の編集委員は輪番制で、中村委員、橋爪委員、平山委員の3人をお願いする。発行は7月1日付でお願いしたい。
- ・次に次第4総合事務所からの諸連絡についてに入る。事務局、諸連絡はあるか。

【平山次長】

- ・諸連絡はない。

【山岸会長】

- ・次に次第の5その他に入る。委員の方で何かあるか。

【中村委員】

- ・資料No.1の令和2年度地域活動支援事業（吉川区）実績一覧であるが、この事業が地域活性化に繋がっていることが分かるように、客観的な数字を挙げるなど工夫してほしいと思う。

【山岸会長】

- ・他の区では提案団体の協力を得て成果報告会を開催しているところもあるが、当区では行っていない。資料作成については、事務局から対応をお願いしたい。

【佐々木主査】

- ・検討していきたいと思う。

【橋爪委員】

- ・今までも感じていたことだが、プレゼンテーションの時間が10分間というのはいかなものか。質問者も回答者も熱を帯びてくると時間が超過するので、15分にするとか検討したほうがよいと思う。

【山岸会長】

- ・今後、次年度に向けて検討する機会もあるので、今のご意見も含め、皆さんからご検討をお願いしたい。
- ・次回の日程であるが、5月27日、午後6時30分から吉川コミュニティプラザで行う。内容は自主的審議事項についての勉強会や地域活動支援事業の採択の審査等である。よろしいか。
（「はい」の声あり。）
- ・他になければ、閉会の挨拶を薄波副会長から願います。

【薄波副会長】

- ・長時間の慎重審議に感謝する。
- ・以上で第2回地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL: 025-548-2311 (内線213)

E-mail: yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

1 1 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。